

資料 2

プラスチック製容器包装に係る燃料ガス化等
(生成されたガス等をそのまま燃焼させているもの)
に関する検討会

プラスチック製容器包装 再商品化の取組み

2017年5月15日

ジャパン・リサイクル株式会社

1) 再商品化ガスの利用先について

【現状】

コークス炉(Cガス)



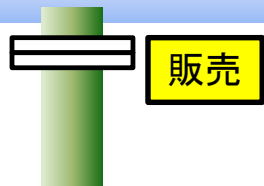
転炉(LDガス)



高炉(Bガス)



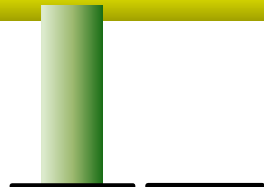
発電所



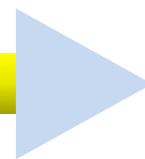
サーモセレクト炉(再商品化ガス)

【今後】

コークス炉(Cガス)



サーモセレクト炉(再商品化ガス)







水素
製造設備

(水素ガスとして)
製鉄会社 冷延工場内の炉内雰囲気調整用ガス
または
化学会社 化成品原料の脱硫用ガス

2) 事業展開(用途変更)までのスケジュール

2019年度(H31年度)から水素ガスとしての利用開始を予定
(実証テスト期間短縮とともに可能な限りスケジュールを前倒しする)

年度	2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (H31)
利用先との検討 (ガス条件、供給ルート 事業化のFS 等)			
工事計画 詳細立案、経営判断 機器購入、対応工事、改造 実証テスト、条件調整・試運転			
用途変更開始			 

2018年度(H30年度)の主な実証テスト項目

- 再商品化ガス量・組成変動の水素製造設備への影響
- 上記の調整、制御可能範囲の見極め
- ホッテストでの実ガスによる水素製造設備(吸着材等)への影響チェック
- 実機での影響チェック
- サーモレクト炉操業開始・停止時の処置・取り決め等